

岡山の発信力高めたい

うと、全国の高校生、大学生らにロゴマークを考案してもらう「岡山ブランディングマークコンテスト」を企画。31日までアイデアを募っている。

ロゴコンテスト企画



ロゴマークのコンテストについて話し合う岡山理科大の学生ら

理科大生

岡山理科大（岡山市北区理大町）でマーケティングを学ぶ総合情報学部3年生8人が、岡山の特産品や観光資源の発信力を高めよ

特産品や観光PRへ

8人は同学部社会情報学

科の山口隆久教授のゼミ生。岡山には

光資源がありながら、情報発信には岡山と

授のゼミ生。岡山には発信力が弱いため十分しての統一感を持た
モノやマスカットとに認知されていない。せることが重要と考
いった果物、備前焼、とし、若者の力でPR。え、ロゴマークのコン
魚敷美観地区など全
できないかと企画し、テストを発表。若者に

よるまちづくりを資金面などで支援する県と県中小企業団体中央会の「岡山まちの夢学生発案実現プロジェクト」に応募し、採択された。

ロゴマークは、岡山

の自信と誇りを表す「I am Okay ama」の文字を使っていけばデザインは自由。Tシャツ、ステッカーなど幅広い展開ができる作品を求めている。企画した学生の一員、荒木謙吾さん(20)は岡山らしさがあり、県民が親しみを覚えるマークを考えて」と話す。

来年1月、山口教授。同表現プロジェクトのホームページなどで入手できる応募用紙に記入し、同学部内作品の制作者には賞金5万円(高校生の場合)を相当額の記念品を贈り、県などへ連携し、で申し込む。問い合わせは山口研究室(086-256-9752)。(平松隆)